

登熟状況を確認して適期に刈取りましょう！

刈取適期は、9月下旬～10月上旬となる見込みです。

- 機械収穫に向けて、速やかに落水しましょう。
- 登熟にばらつきが予想されることから、テスト籾摺りを実施してから刈取りましょう。
- 倒伏した稲は、刈分けましょう。

1 刈取りに向けた水管理について

機械収穫に向けて田面を固めるため、速やかに落水しましょう。

2 いわてっこの刈取適期について

刈取適期は、出穂後の積算気温 950～1,050℃が目安で、9月下旬～10月上旬となる見込みです。

表1 いわてっこの刈取適期の目安

市町村 地区	出穂期(月/日)	刈取適期の目安(月/日)※
洋野町宿戸	8/8 (平年差+2)	9/25 ~ 9/30
洋野町阿子木	8/5 (平年差+3)	9/20 ~ 9/25
久慈市大川目	8/7 (平年値なし)	9/21 ~ 9/26
野田村泉沢	8/11 (平年差+2)	9/27 ~ 10/3

※9月4日までの現況値、9月5日以降は平年値で算出。

今年は1株の中でも出穂がばらついたことから、登熟のばらつきが予想されます。黄化籾割合が80～90%に達したら、テスト籾摺りを実施し、登熟状況を確認してから刈取りましょう。

ただし、刈遅れると胴割れや着色米が多くなることから注意しましょう。

3 刈取りについて

倒伏した稲と一緒に刈取ると未熟粒の混入につながり、落等してしまいますので、刈分けましょう。

※今回の情報提供で今年の水稲栽培についてのものは終了します。

※このような情報をタイムリーに入手することに役立つ、メール配信をしています。

ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ登録できます。ぜひご利用ください。

お問い合わせ先：JA 新いわて久慈営農経済センター (電話 0194-52-1318)
久慈農業改良普及センター (電話 0194-66-9683)